



# 2021年3月期 第3四半期 決算短信補足資料

2021年2月5日  
**日本水産株式会社**

第3四半期は経済活動に回復の兆しが見られ想定より業績は改善、営業利益は第2四半期の前年同期比▲37%減益から▲21%に16ポイント好転した。

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	対前年同期比		2021年3月期 年間計画 11/5公表	進捗率 (%)
			増減	増減率(%)		
売上高	5,268 億円	<b>4,972</b> 億円	▲296 億円	▲5.6	6,500 億円	76.5
営業利益	190 億円	<b>150</b> 億円	▲40 億円	▲21.0	150 億円	100.4
経常利益	216 億円	<b>187</b> 億円	▲28 億円	▲13.0	185 億円	101.6
四半期 純利益	147 億円	<b>131</b> 億円	▲16 億円	▲10.9	115 億円	114.6

# 第3四半期（10-12月期） の概況

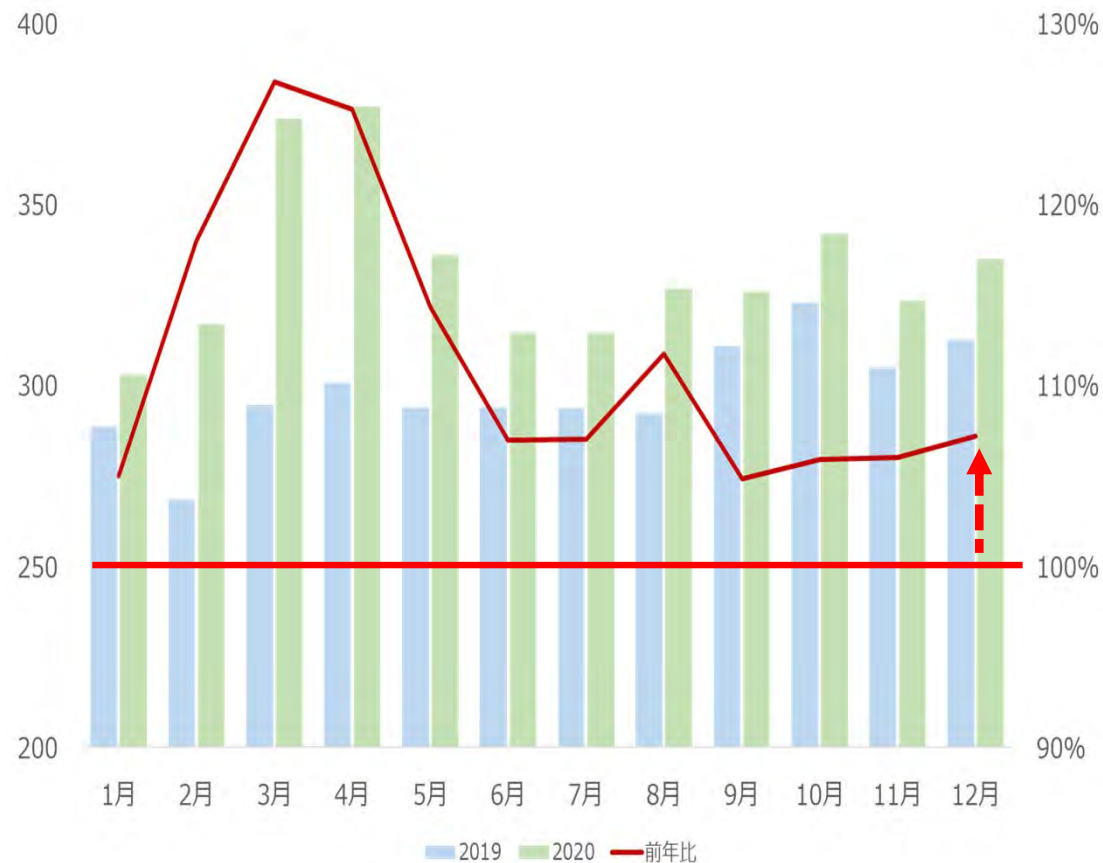
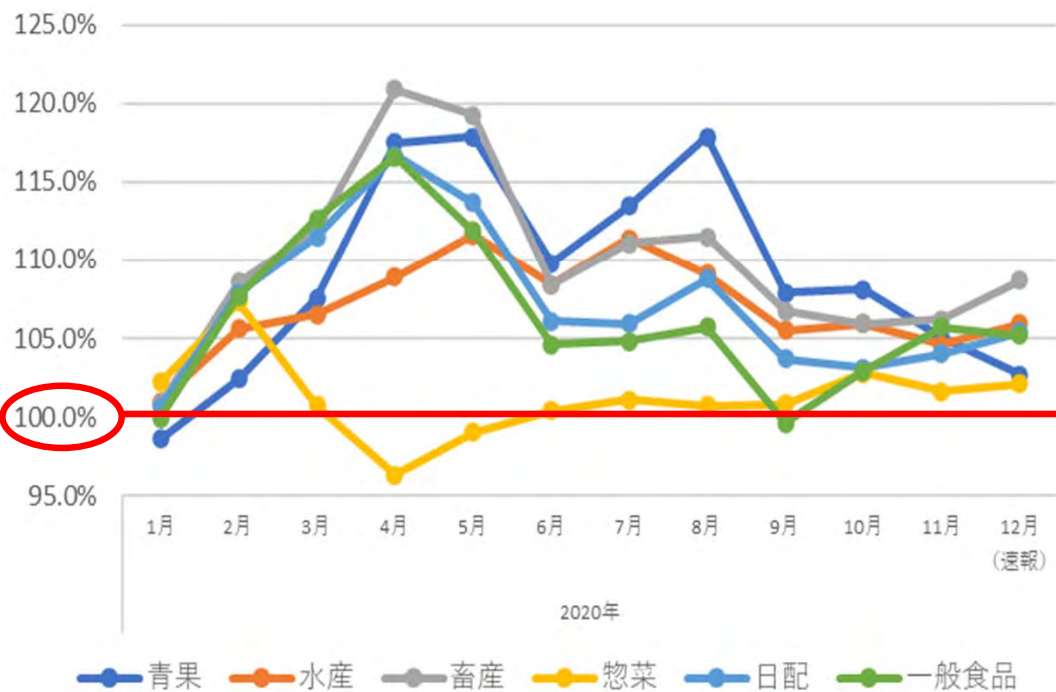
量販店は巣ごもり需要により堅調。  
家庭用冷凍食品は市場拡大が継続している。

＜スーパーマーケット販売統計＞

(単位：億円)

＜冷凍食品販売金額（宅配・通販除）＞

スーパーマーケット販売統計（全店）  
前年同月比推移

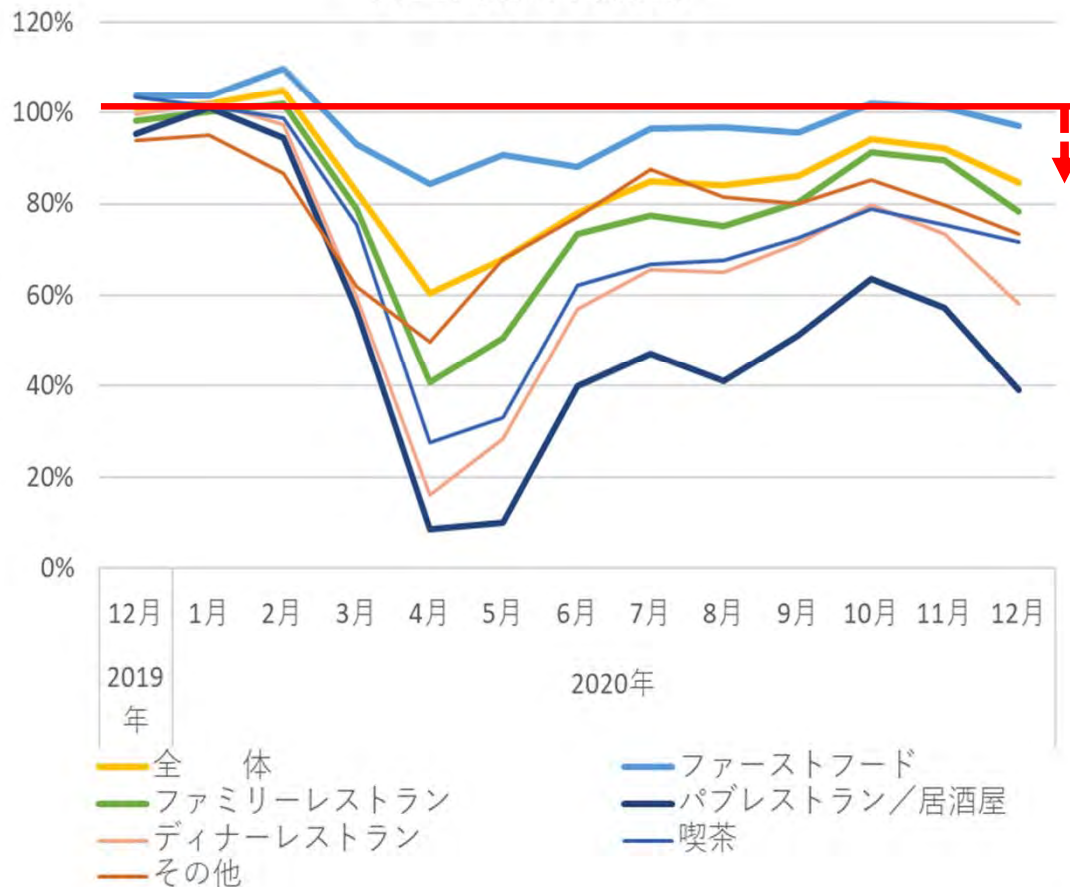


出典：スーパーマーケット販売統計調査  
（一社 全国スーパーマーケット協会、一社 日本スーパーマーケット協会、  
オール日本スーパーマーケット協会）

出典：イメージ SRI-M

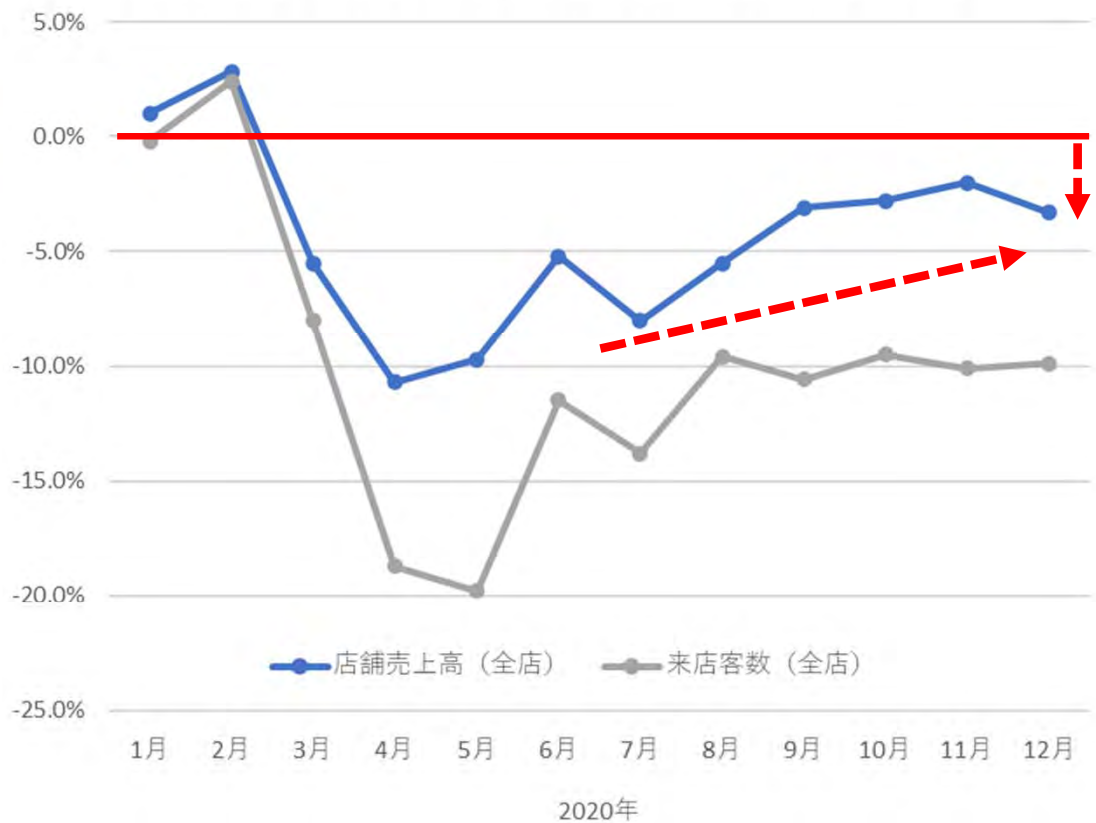
外食産業、CVSは3月～5月に大きくマイナスも、6月から徐々に回復。  
CVSの売上高の落ち込みも5%未満まで縮小。

日本 外食産業市場動向調査  
売上高前年同月比

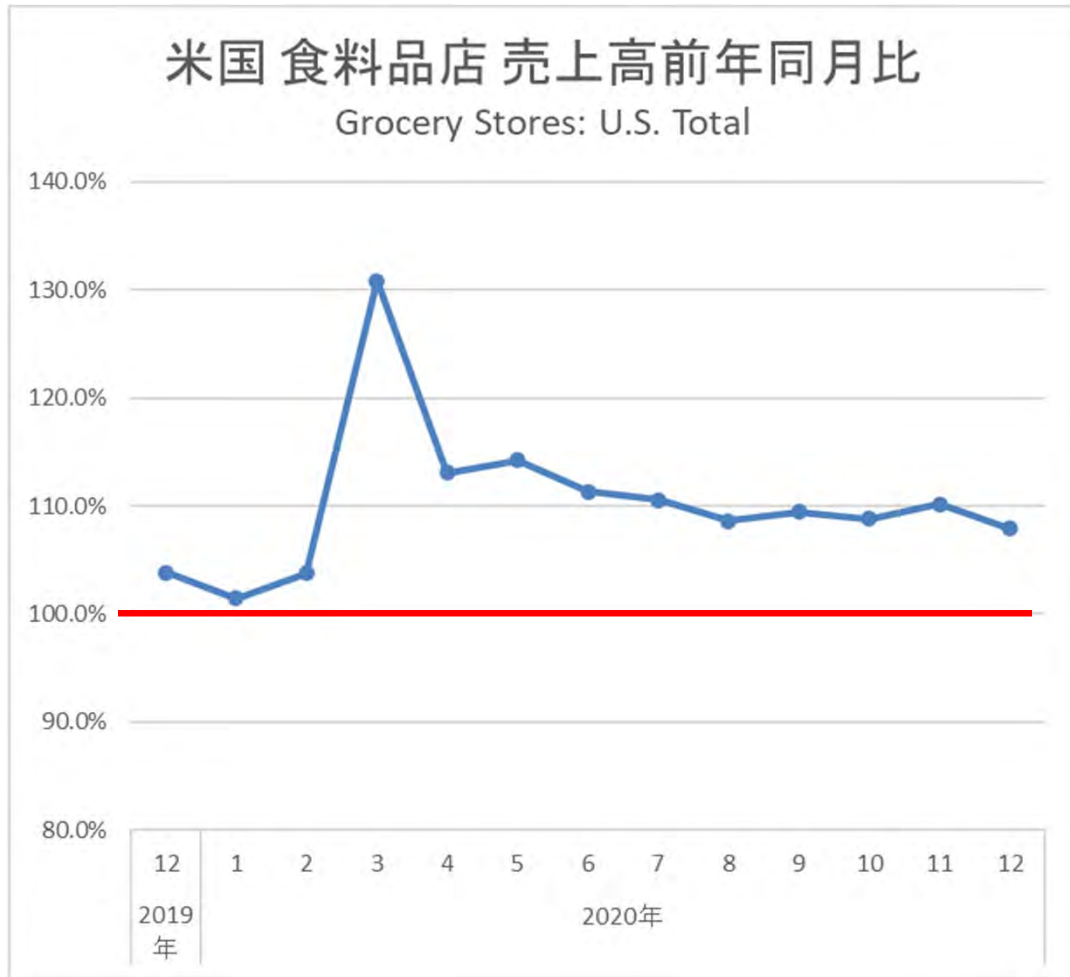


CVS統計調査

店舗売上高・来店客数 前年同月比

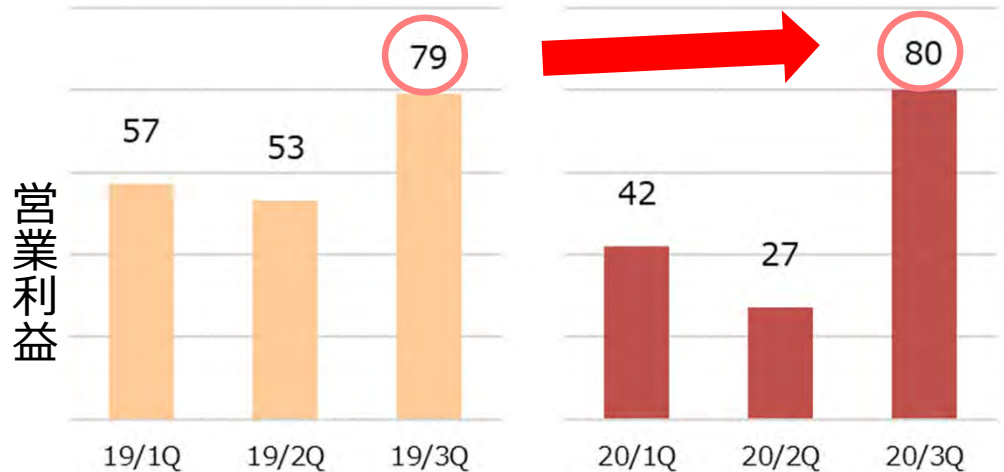
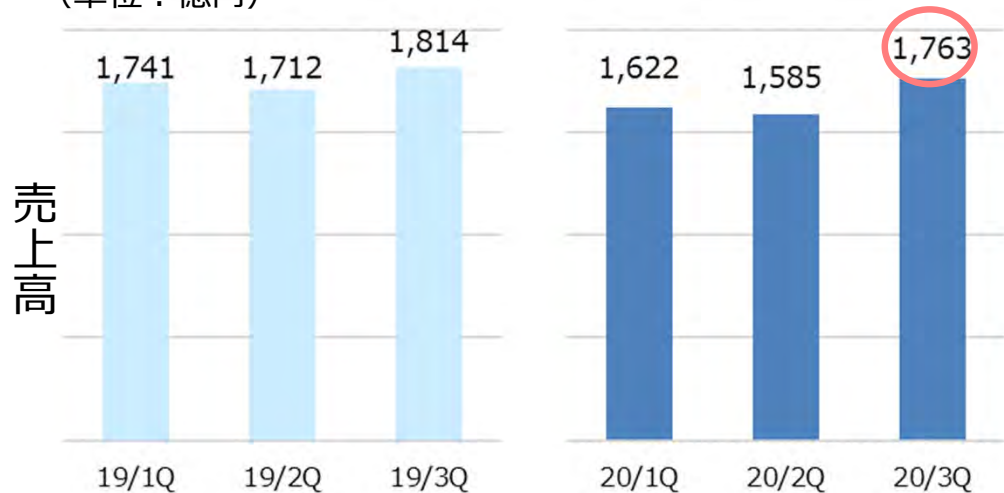


米国の量販店は3月から好調を継続。一方で外食産業は3月～5月に大きくマイナス、6月から若干回復も前年には届かず。



海外の水産が苦戦。食品は国内外とも家庭用が引き続き堅調なうえ、業務用やCVS向けの販売も徐々に改善。

(単位：億円)



## 第3四半期の状況

国内(10-12月) 共通	9月まで不調だった業務用・CVS向けが徐々に改善。魚価低迷は継続。
食品	家庭用は引き続き堅調。業務用・CVS向けは売上は苦戦も収益は前年並み。
水産	量販店向けの販売が堅調も魚価低迷で減収が続く。
海外(7-9月) 共通	食品は堅調。水産は鮭鱒養殖の減産や白身魚加工の歩留まり悪化で苦戦。
食品 北米・欧州	家庭用は順調な販売により利益を確保。業務用はテイクアウト・デリバリーを中心に回復基調。
水産 南米	鮭鱒養殖は減産に加え販売価格下落で減収減益。漁業は漁獲の低調により苦戦。
水産 北米・欧州	北米加工は原料魚の小型化により歩留まり悪化し収益性低下。欧州は外食向けが若干回復。

## 苦戦する水産事業を食品事業でカバー

(単位：億円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	率(%)
<b>売上高</b>	<b>1,814</b>	<b>1,763</b>	<b>▲50</b>	<b>▲2.8</b>
水産事業	<b>832</b>	<b>754</b>	<b>▲78</b>	<b>▲9.4</b>
食品事業	<b>831</b>	<b>843</b>	<b>11</b>	<b>1.4</b>
ファインケミカル事業	<b>64</b>	<b>69</b>	<b>5</b>	<b>7.9</b>
物流事業	<b>43</b>	<b>44</b>	<b>0</b>	<b>1.8</b>
その他	<b>42</b>	<b>51</b>	<b>9</b>	<b>23.0</b>
<b>営業利益</b>	<b>79</b>	<b>80</b>	<b>1</b>	<b>1.3</b>
水産事業	<b>50</b>	<b>34</b>	<b>▲15</b>	<b>▲31.1</b>
食品事業	<b>29</b>	<b>44</b>	<b>14</b>	<b>48.8</b>
ファインケミカル事業	<b>7</b>	<b>9</b>	<b>1</b>	<b>21.0</b>
物流事業	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>8.7</b>
その他	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>3,186.6</b>
全社経費	<b>▲15</b>	<b>▲17</b>	<b>▲1</b>	<b>11.4</b>
<b>経常利益</b>	<b>94</b>	<b>98</b>	<b>3</b>	<b>3.8</b>
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>69</b>	<b>81</b>	<b>11</b>	<b>17.0</b>



# 第3四半期（累計） の概況

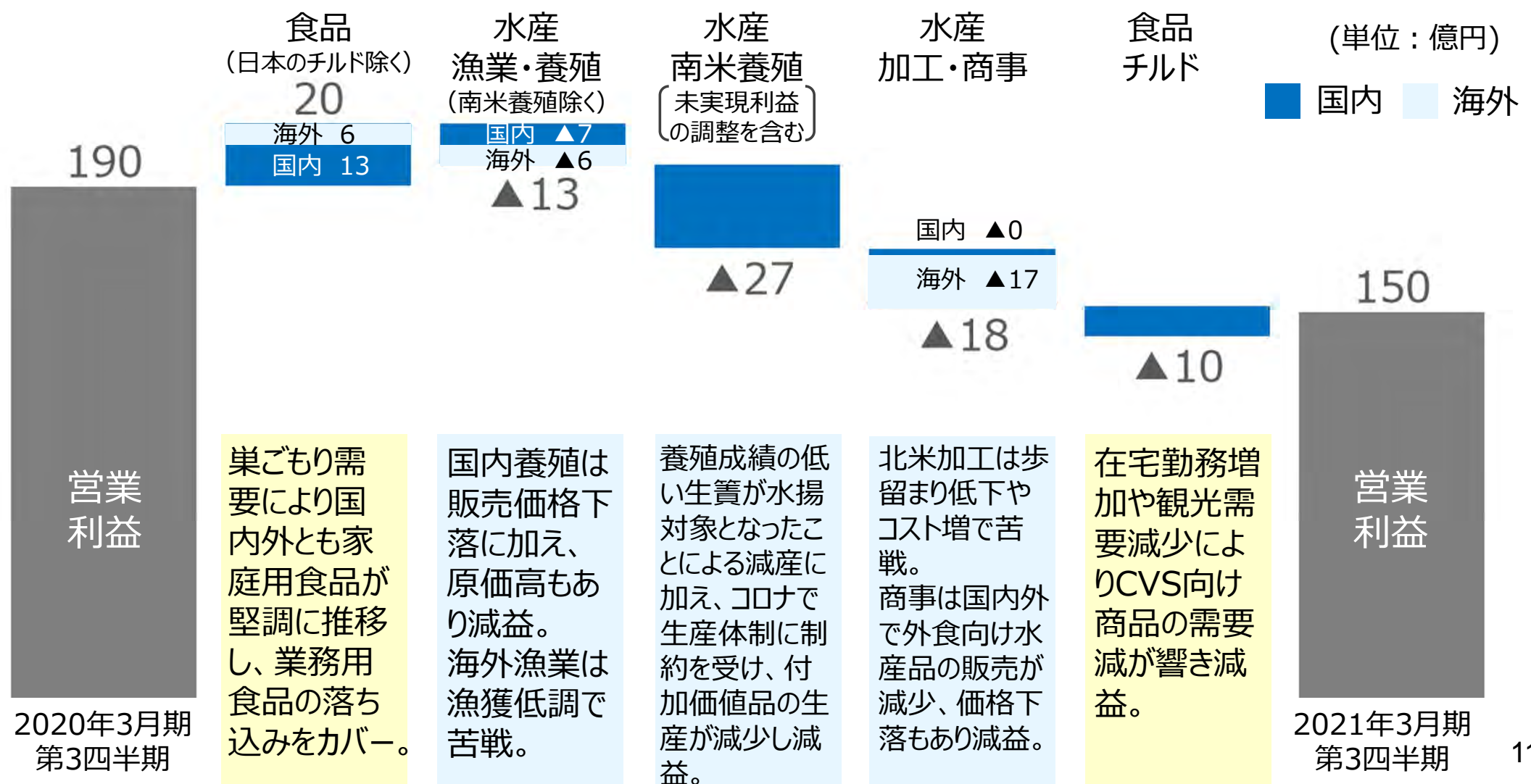
外食・観光需要の減少や需要減による水産市況悪化など、水産事業へのインパクトが大きく、売上高は5%減収、営業利益は21%減益。

(単位：億円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	率(%)
<b>売上高</b>	<b>5,268</b>	<b>4,972</b>	<b>▲296</b>	<b>▲5.6</b>
水産事業	2,245	2,020	▲225	▲10.0
食品事業	2,560	2,489	▲70	▲2.8
ファインケミカル事業	201	192	▲9	▲4.8
物流事業	127	128	1	0.9
その他	132	140	8	6.1
<b>営業利益</b>	<b>190</b>	<b>150</b>	<b>▲40</b>	<b>▲21.0</b>
水産事業	104	53	▲51	▲49.3
食品事業	98	109	10	11.0
ファインケミカル事業	19	19	▲0	▲2.4
物流事業	15	18	2	14.2
その他	1	5	4	431.7
全社経費	▲48	▲54	▲5	11.3
<b>経常利益</b>	<b>216</b>	<b>187</b>	<b>▲28</b>	<b>▲13.0</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>147</b>	<b>131</b>	<b>▲16</b>	<b>▲10.9</b>

# 主な営業利益増減要因(前年同期比)



食品は国内外とも家庭用は堅調で業務用の落ち込みをカバーもCVS向けチルド事業は苦戦。水産は魚価低迷に加え、南米鮭鱒養殖事業の減産、国内養殖事業の原価高もあり減益。



巣ごもり需要により国内外とも家庭用食品が堅調に推移し、業務用食品の落ち込みをカバー。

国内養殖は販売価格下落に加え、原価高もあり減益。海外漁業は漁獲低調で苦戦。

養殖成績の低い生簀が水揚げ対象となったことによる減産に加え、コロナで生産体制に制約を受け、付加価値品の生産が減少し減益。

北米加工は歩留まり低下やコスト増で苦戦。商事は国内外で外食向け水産品の販売が減少、価格下落もあり減益。

在宅勤務増加や観光需要減少によりCVS向け商品の需要減が響き減益。

## 自己資本比率が2.4%改善

( ) 内の数字は前期末比増減

(単位:億円)

<b>流動資産</b>		<b>2,509</b>	<b>(▲21)</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,650</b>	<b>(▲318)</b>
現金及び預金	110	(▲163)		支払手形及び買掛金	446	(+91)
受取手形及び売掛金	977	(+177)		短期借入金	783	(▲425)
棚卸資産(在庫)	1,263	(▲47)		未払費用	281	(+49)
<b>固定資産</b>		<b>2,399</b>	<b>(+15)</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,417</b>	<b>(+194)</b>
有形固定資産	1,468	(▲11)		長期借入金	1,197	(+193)
無形固定資産	98	(▲5)				
投資その他の資産	831	(+31)		<b>純資産</b>	<b>1,840</b>	<b>(+117)</b>
<b>総資産</b>	<b>4,908</b>	<b>(▲6)</b>		自己資本	1,648	(+116)
				自己資本比率		
				'20/3	31.2%	⇒ '20/12 <b>33.6%</b>

## 営業CFが大きく改善

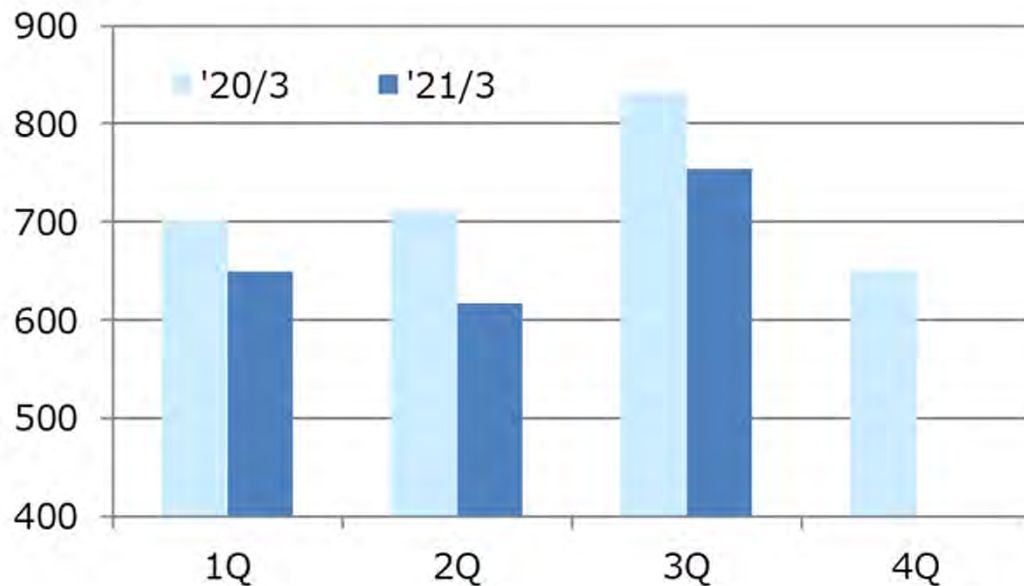
(単位:億円)	2020年3月期 第3四半期実績	2021年3月期 第3四半期実績	増減
・税金等調整前四半期純利益	213	199	▲ 14
・減価償却費 (のれん償却含む)	143	148	4
・運転資本	▲ 286	▲ 11	275
・法人税等の支払額	▲ 47	▲ 29	18
・その他	▲ 71	▲ 82	▲ 10
<b>営業活動によるCF</b>	<b>▲ 49</b>	<b>224</b>	<b>274</b>
・設備投資額 (固定資産取得額)	▲ 201	▲ 185	15
・その他	▲ 1	65	66
<b>投資活動によるCF</b>	<b>▲ 202</b>	<b>▲ 119</b>	<b>82</b>
・短期借入金の増減額	229	▲ 340	▲ 569
・長期借入金の増減額	31	115	83
・その他	▲ 40	▲ 37	2
<b>財務活動によるCF</b>	<b>220</b>	<b>▲ 262</b>	<b>▲ 483</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>130</b>	<b>158</b>	

新型コロナウイルスによる水産物の需要減と販売価格下落、南米鮭鱒養殖の減産などの影響を受け減収・減益。

(単位：億円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	増減率(%)
売上高	2,245	2,020	▲225	▲10.0
営業利益	104	53	▲51	▲49.3

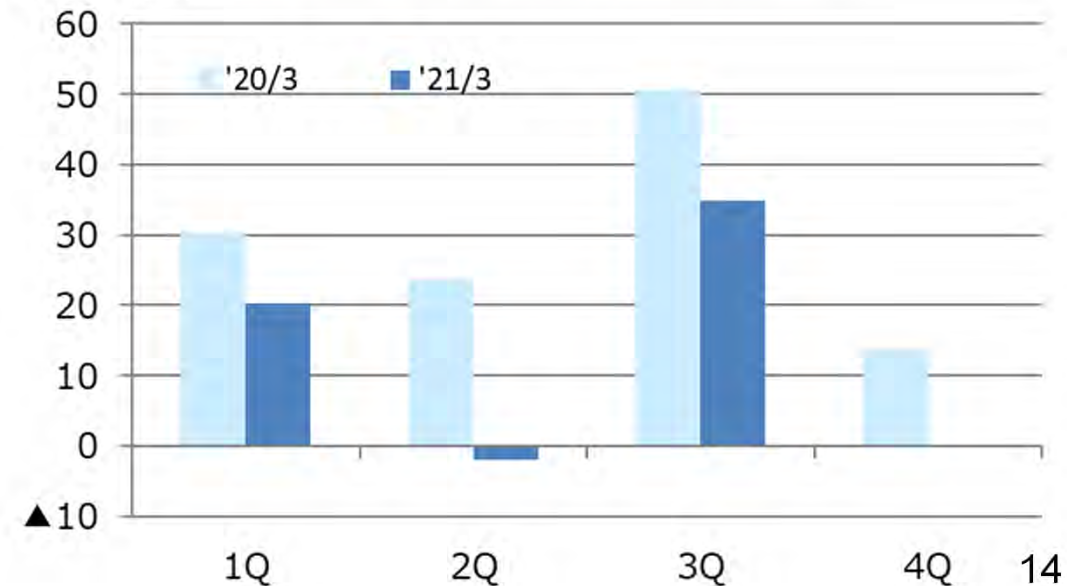
### 売上高 (四半期別)

(単位：億円)

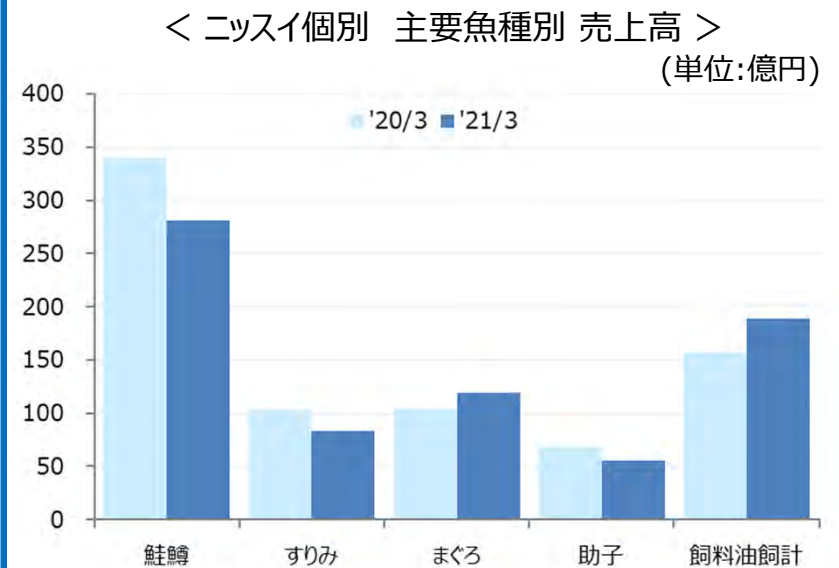
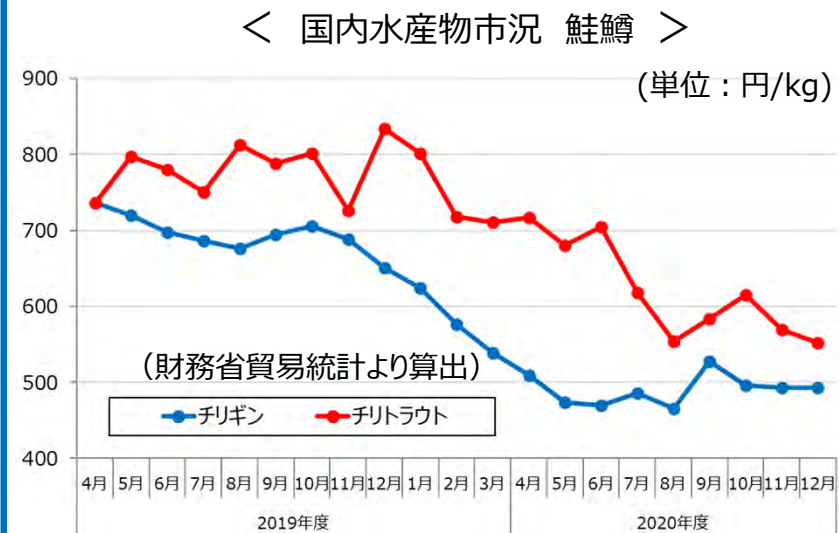
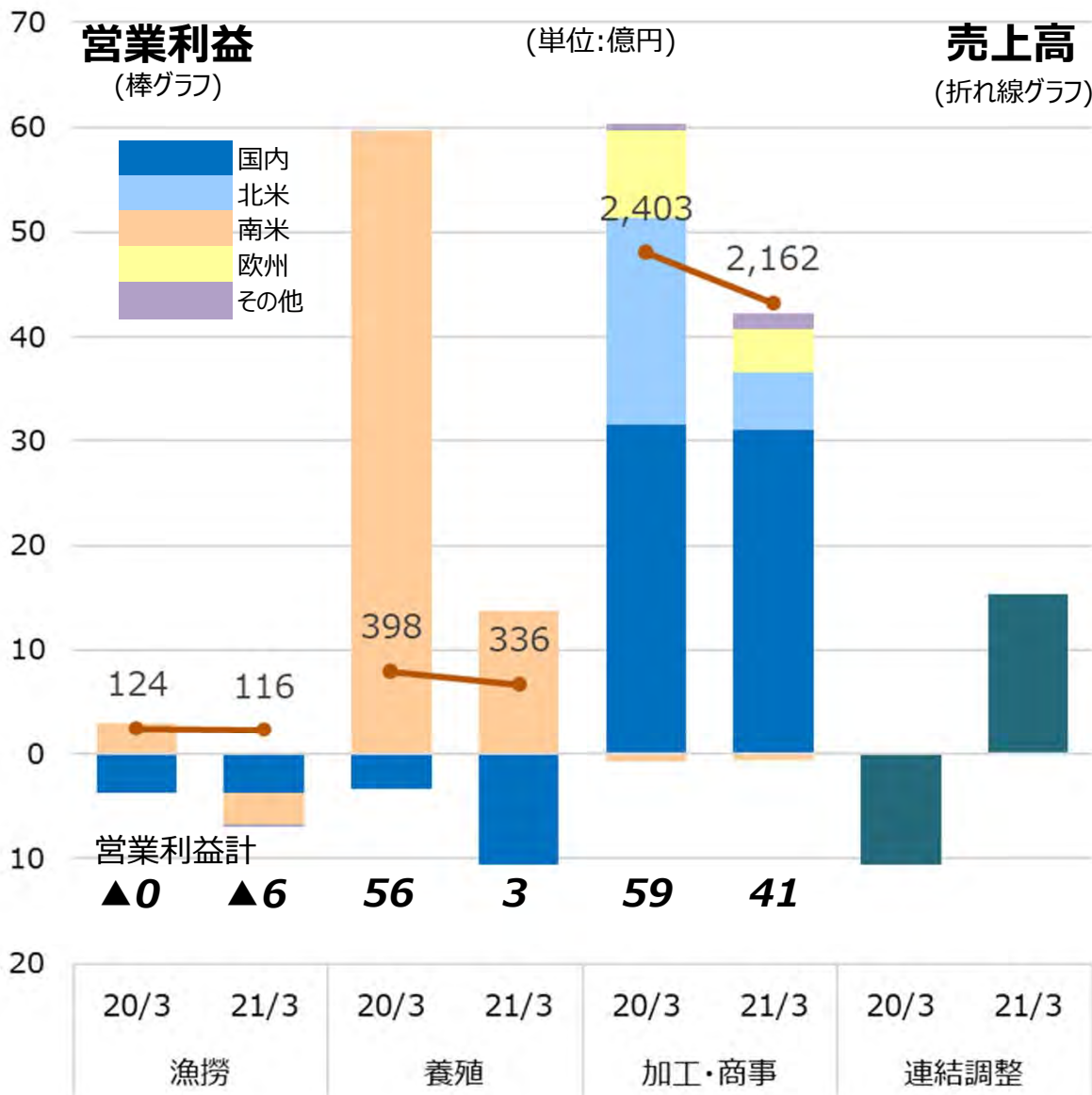


### 営業利益 (四半期別)

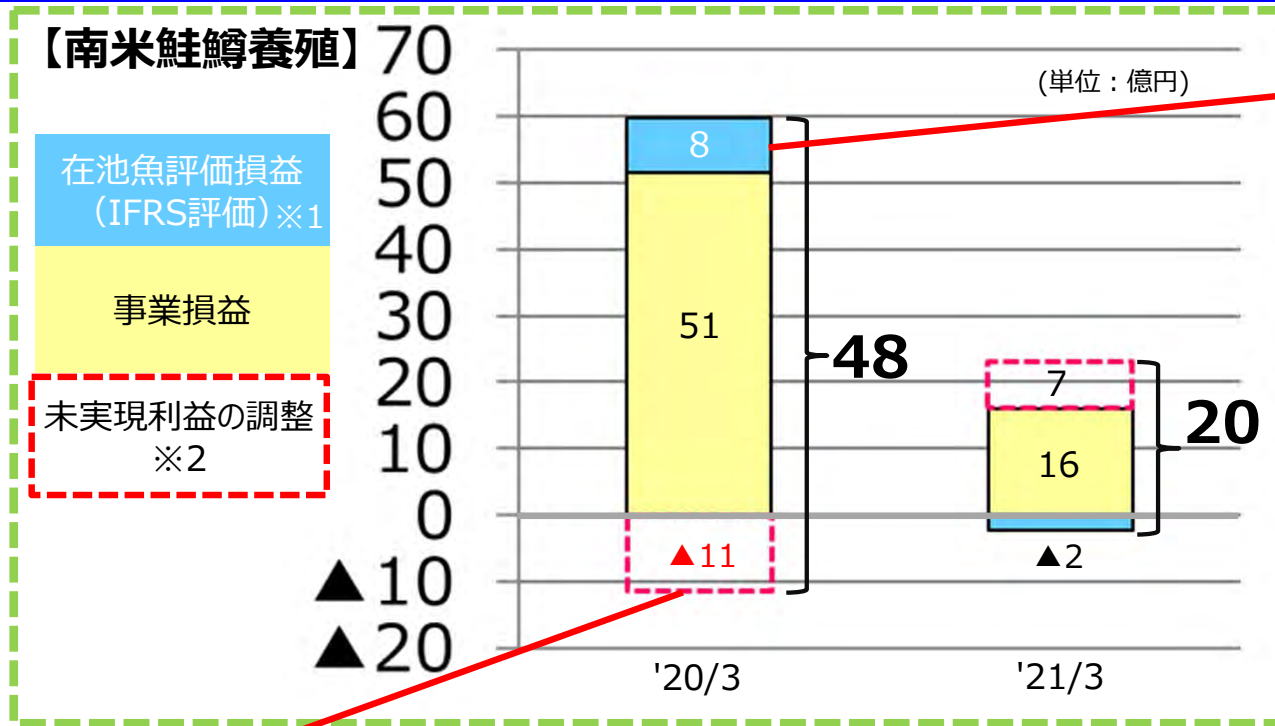
(単位：億円)



養殖は国内外とも減産・価格低迷・原価高が重なり、加工は北米で原料の小型化等による歩留まり低下とコロナによるコスト増が響き苦戦。



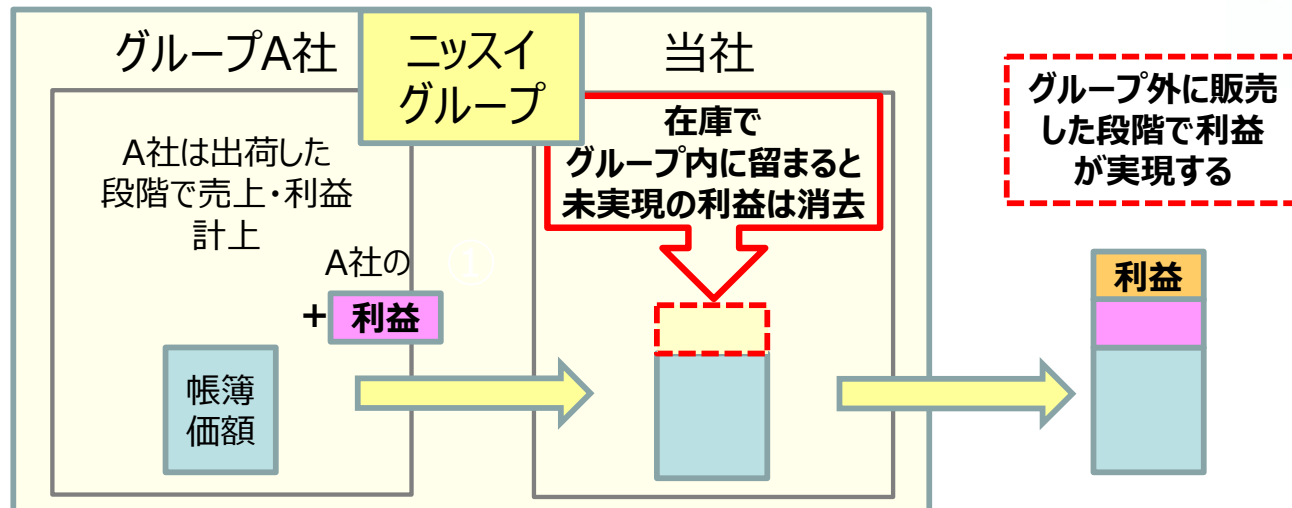
## 南米鮭鱒養殖の実質的な損益は前年比27億円の減益



※1 在池魚評価損益  
生簀にいる出荷前の魚（在池魚）  
について出荷想定価格による評価を  
実施



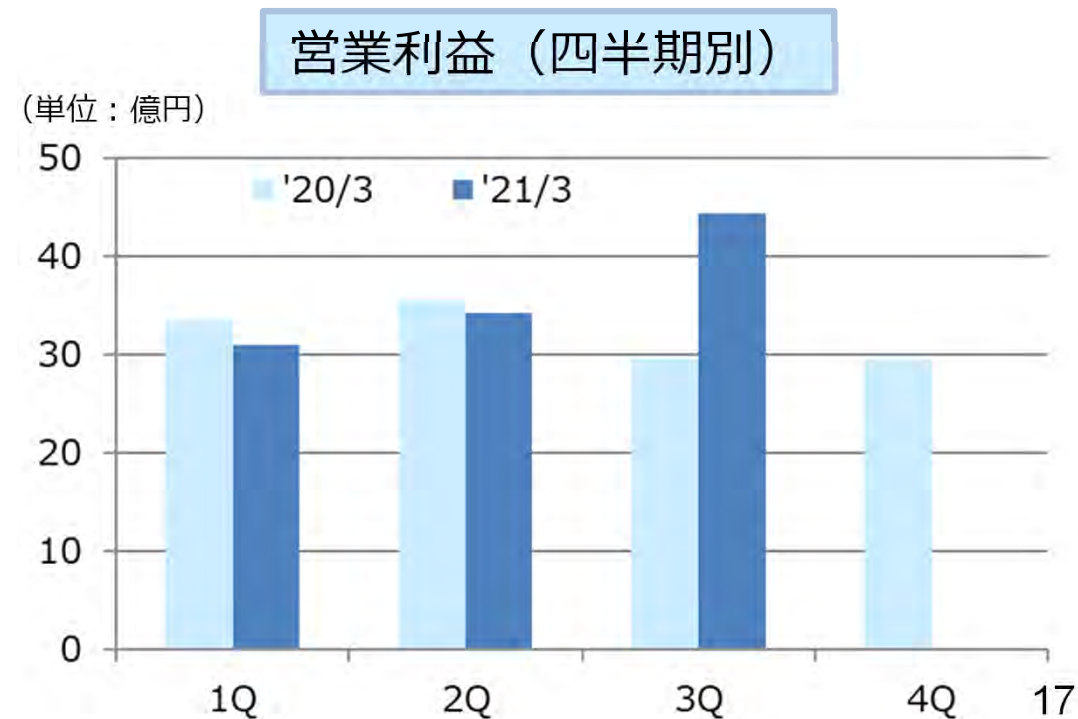
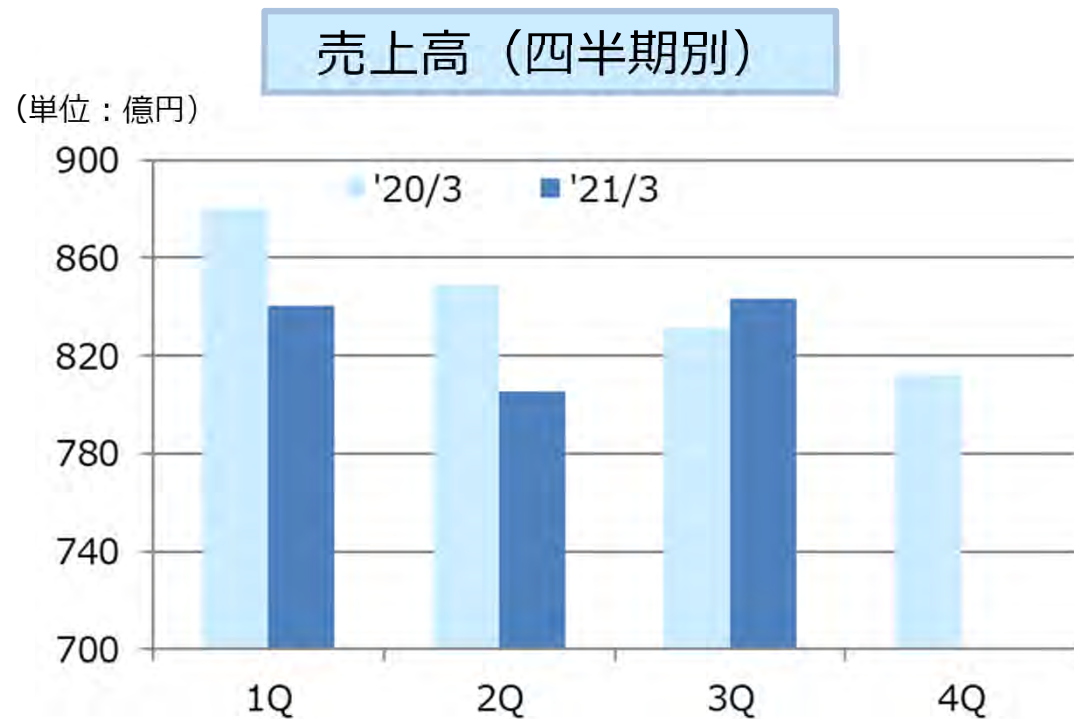
※2 在庫に含まれる  
未実現利益の調整



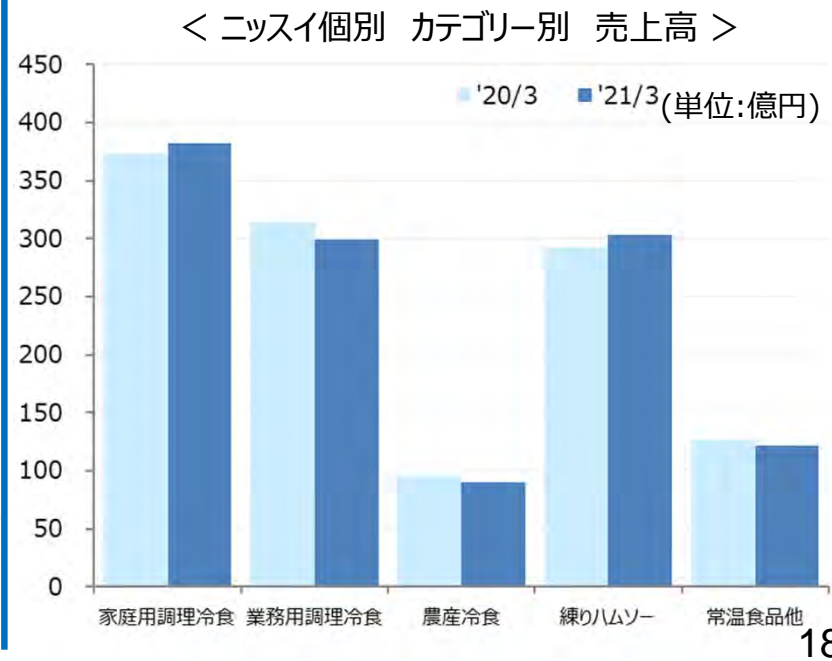
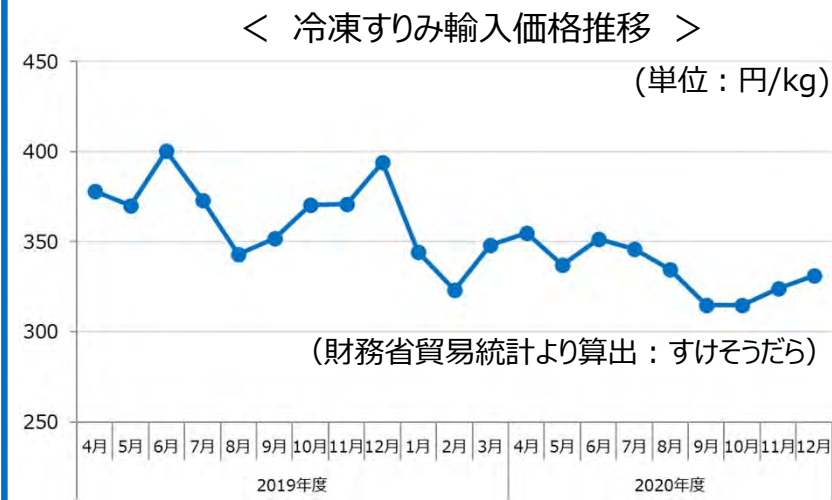
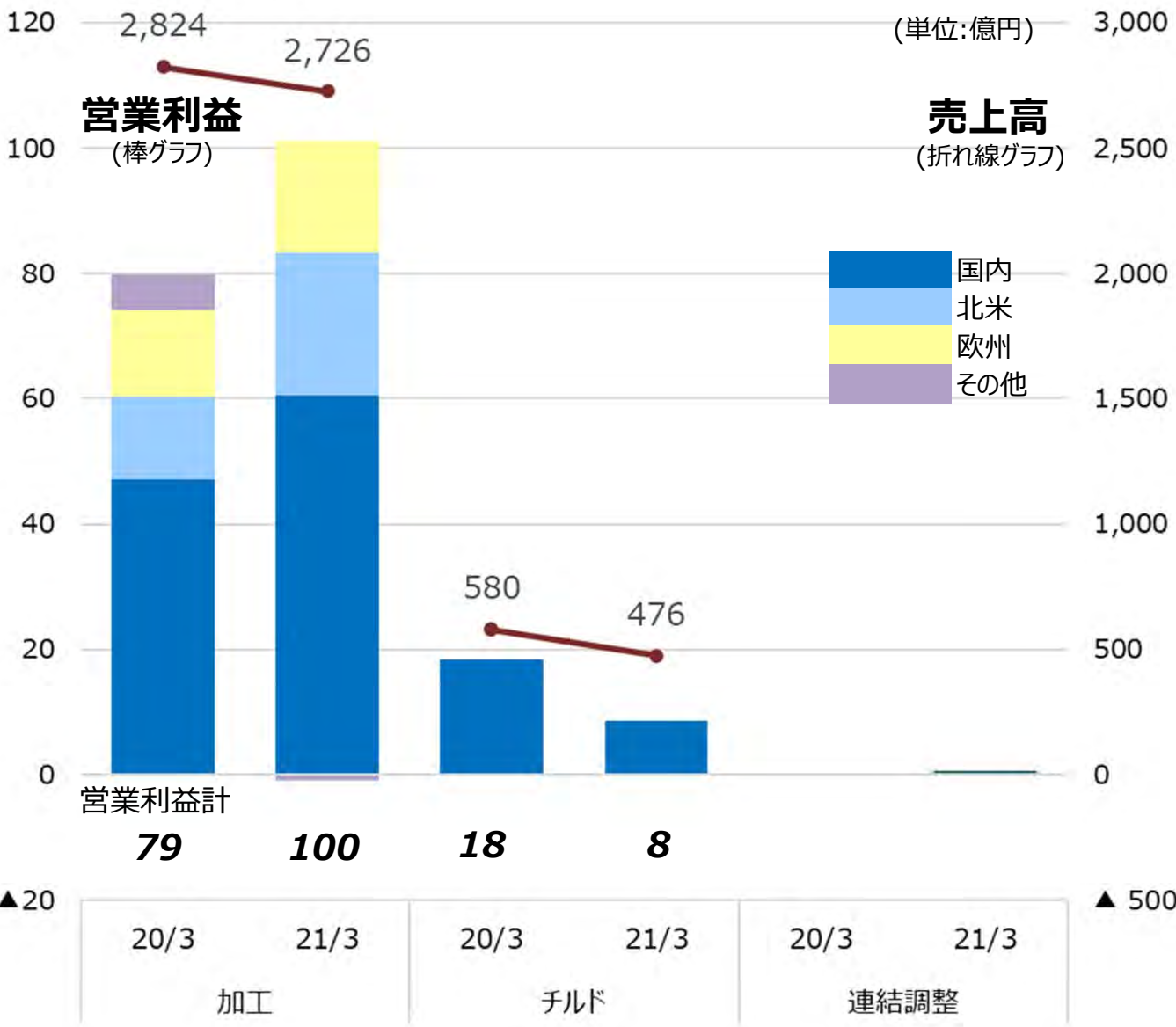


家庭用が堅調に推移し業務用の落ち込みをカバー。  
第3四半期は業務用やCVS向け商品の販売が回復傾向。

(単位：億円)	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期比増減	
	第3四半期	第3四半期	(億円)	増減率(%)
売上高	2,560	2,489	▲70	▲2.8
営業利益	98	109	10	11.0



国内外とも量販店向けの販売が好調。チルド事業は米飯やサラダ・惣菜類などによる数量減が響き減収・減益。

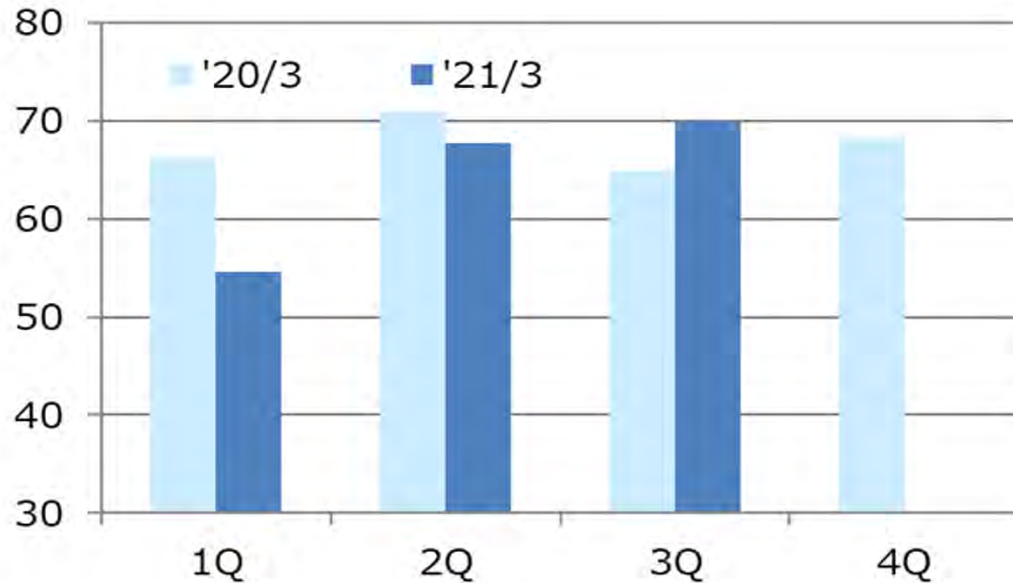


機能性原料・機能性食品の販売は堅調に推移したが、医薬原料の販売減少や医薬品販売会社の売却などもあり利益は前年並み。

(単位：億円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	増減率(%)
売上高	201	192	▲9	▲4.8
営業利益	19	19	▲0	▲2.4

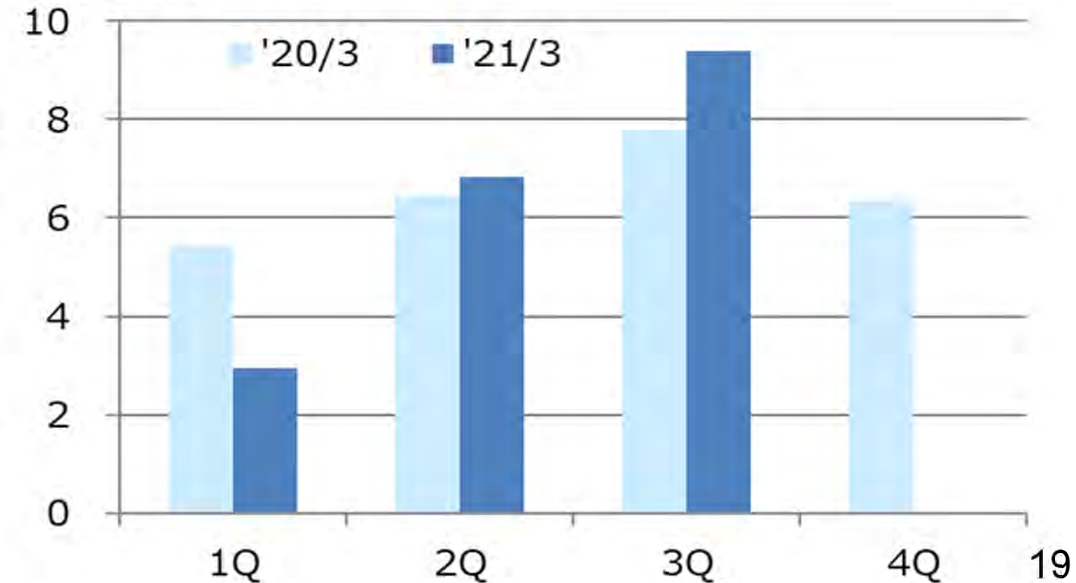
### 売上高 (四半期別)

(単位：億円)



### 営業利益 (四半期別)

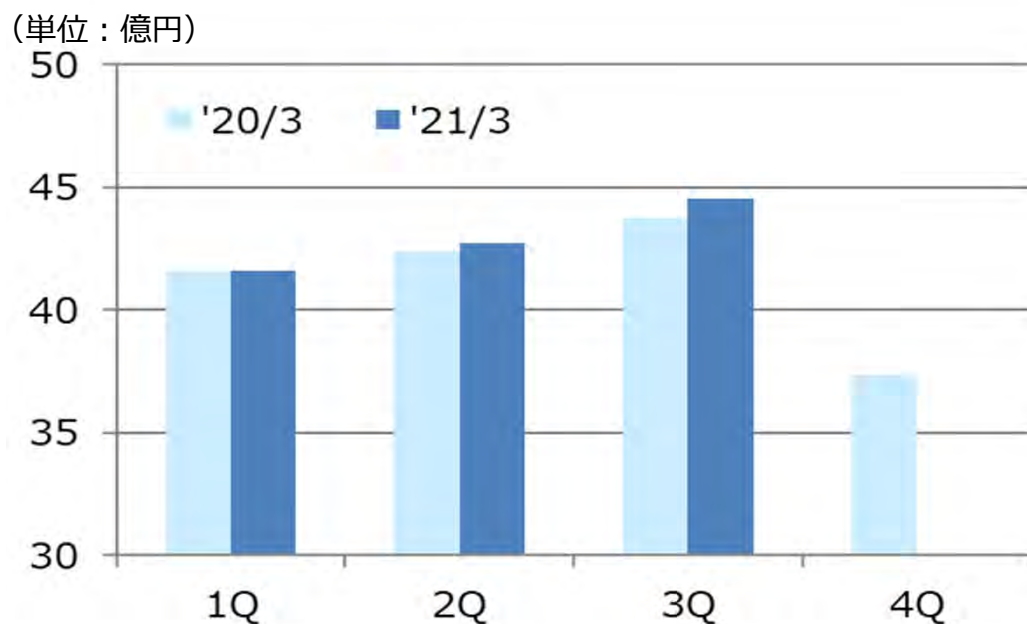
(単位：億円)



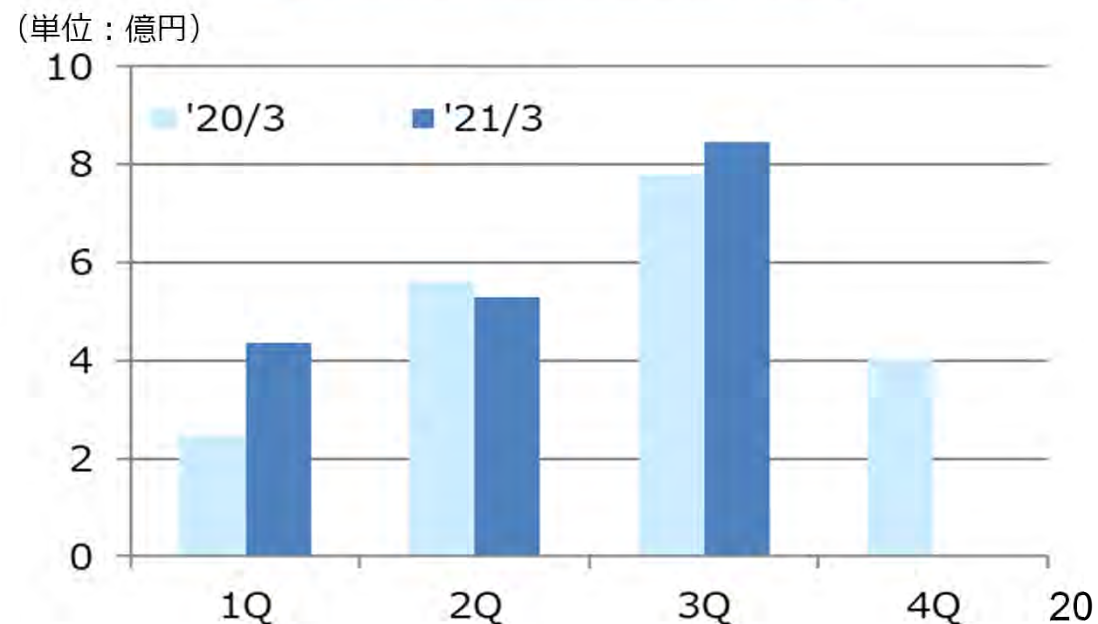
業務用顧客の荷動き低迷や在庫減少が続くが、大阪舞洲物流センター2号棟の新規稼働や経費削減効果もあり増収・増益。

(単位：億円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	対前年同期比増減	
			(億円)	増減率(%)
売上高	<b>127</b>	<b>128</b>	<b>1</b>	<b>0.9</b>
営業利益	<b>15</b>	<b>18</b>	<b>2</b>	<b>14.2</b>

## 売上高 (四半期別)



## 営業利益 (四半期別)



# 今後の打ち手

回復の兆しは見られますが、年間計画は変更しておりません。

水産物に付加価値を付け内食増加に対応するとともに、苦戦している事業の体質強化を進める。

**新商品：**

春夏新商品として10品を発表



**おさかなミンチを使用したドライカレー**



**おさかなミンチとは・・・**  
白身魚をミンチ状にし、肉のように扱える商材



**レンジ赤魚煮付け**



**レンジ銀ひらす煮付け**  
電子レンジ加熱だけで本格煮魚ができるチルド製品

**国内：養殖**

**まぐろ事業の正常化**

人工種苗まぐろの縮小、産地加工品拡大、畜養まぐろの強化など

**銀鮭事業の黒字化**

出荷魚大型化と生産性向上によるコスト削減

**かんぱち事業の黒字化**

人工種苗の導入、飼料改善によるコストダウン

**海外：**

**北米白身魚加工事業**

小型魚が多くなることを想定し、生産体制の最適化や歩留まり改善などを図る。

**南米鮭鱒養殖事業**


コロナ禍で生産が減少した高付加価値品の増産と、生簀密度の調整などの魚病対策で生残率の改善を図る。

## コロナ禍での生活者ニーズの変化に着目



# 速筋タンパク

健康な体に重要な「速筋」を効率よく増やすには、良質なタンパク質であるスケソウダラの「速筋タンパク」が効果的

筋肉は、足りてますか？

## 世界初!


食べるだけで  
筋肉が増える  
タンパク質があった。



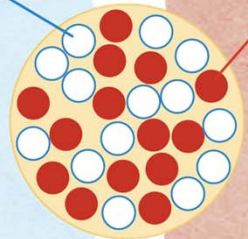
筋肉は大きく2種類ある

### 速筋

瞬発力: 白い




とっさの踏ん張り・安静時の熱の産生・体の引き締め



### 遅筋

持久力: 赤い



姿勢を保つ・呼吸・ゆっくり歩く



ちくわやかにかまなど、練り製品は「スケソウダラ」でできている!









## コロナ禍での生活者ニーズの変化に着目

### 北米

家庭用…家庭で本格的な味わいが楽しめる製品や、健康意識の高まりによるヘルシー料理の需要拡大に対応



【外食代替】  
家庭で本格的な  
味わいが楽しめる製品



【ヘルシー】  
衣がないことで  
油分を減らした製品



えび製品の取扱い強化

### 欧州

フランスは量販店向け好調、4Q以降も増産見込む。  
ドイツやイギリスに販路を拡大。



【販売が好調なチルド水産衣付き商品】  
冷凍品に比べ短時間で簡単に  
調理可能なチルド品を伸ばす

## 原料調達と販売体制の両面の強化

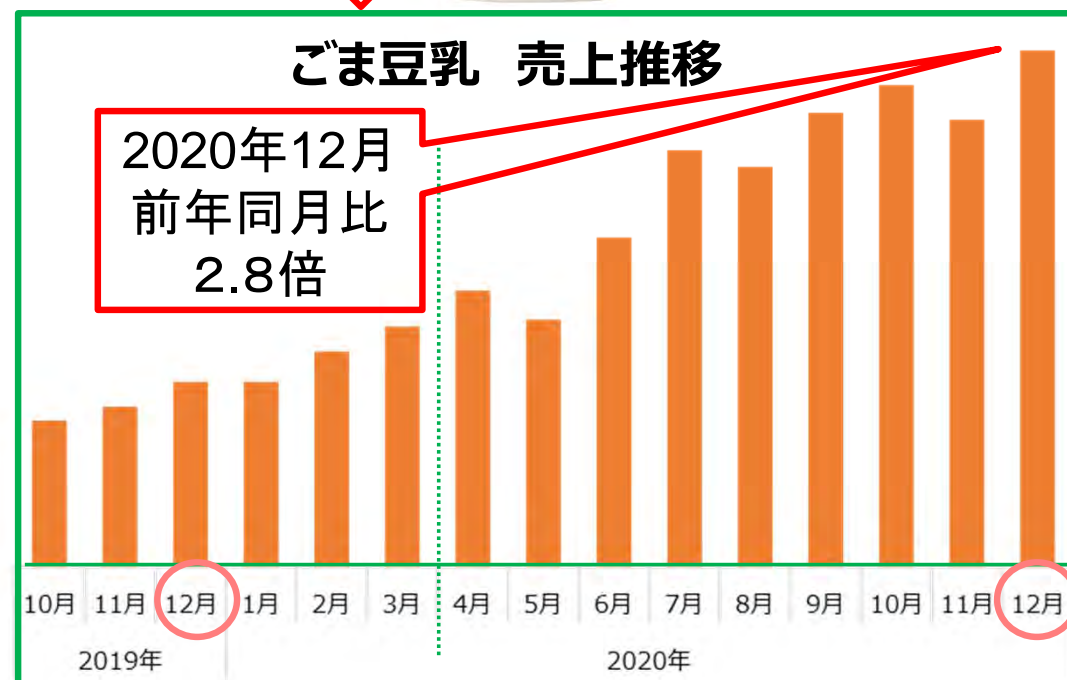
### 機能性原料

生産アイテムの集約により、生産効率の最大化とコストダウンを図る。需要拡大するサプリメント向け原料販売に対応する。

不足するEPA/DHA原料の調達先を拡大し、工場稼働を最大化する。

### 機能性食品（通販）

「Eコマース」を専門とする組織を新設。水産・食品・ファインケミカル各事業を融合しEコマースへの対応を強化する。



14 海の豊かさを  
守ろう



## 豊かな海を守り、持続可能な水産資源の利用と調達の推進する

### 東京サステナブルシーフード・シンポジウム2020に協賛

# TSSS 2020

今年で6回目を迎える水産資源の持続可能性に特化したアジアで最大級の国際シンポジウム。水産業や海洋環境等の分野における専門家による意見交換を通じて、持続可能な水産資源の将来を検討する。

中井環境省環境事務次官(写真右)と  
「持続可能な海のサプライチェーンの構築」  
をテーマに対談



(左下) 執行役員 CSR部担当  
伊勢 宗弘

「国際民間プラットフォームSeaBOSが進める、IUU漁業撲滅に向けた取り組み」



(中央) CSR部  
担当部長  
(水産サステナブル関連)  
屋簷 利也

SeaBOSの取締役をファシリテーターとし、水産企業の担当者や科学者を交えたディスカッション

写真出典：TSSS2020 Webサイトより

<https://sustainableseafoodnow.com/2020/>



容器包装のプラスチック削減に関する新たな取り組み

ニッスイ独自のエコマーク「みらいの海へ」の導入を開始



- ①素材をポリスチレンに変更しプラスチック利用を19%削減
- ②トレーの高さを低くし重量を21gから17gに軽減



改良前のトレー



改良後のトレー

みらいの海へ  
 プラ削減  
 植物由来インキ

- トレーのプラスチック使用量を減らしました。[従来比19%削減]
- 外袋のインキの10%に植物由来原料を使用しています。



ダイバーシティ・女性活躍の推進

30%Club Japanへの参加



30%Club Japanとは、企業の役員に占める女性比率を3割に引き上げること为目标としたイギリス発のキャンペーンで、日本は2019年5月に発足。



2021年1月より入会しました。女性採用比率の引き上げ、女性が活躍できる仕組み作りなどに積極的に取り組んで参ります。

世界各国で新型コロナウイルスが  
再び感染拡大となり、先行き不透明では  
ありますが、体質強化を進めつつ、  
更なる成長を目指して参ります。

# 参考資料

# 連結損益計算書(前年同期比)



(単位：億円)	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	主な増減要因
売上高	5,268	4,972	▲ 296	
売上総利益	1,027	969	▲ 57	
販売費・一般管理費	836	818	▲ 17	
営業利益	190	150	▲ 40	
営業外収益	40	48	8	助成金収入+6
営業外費用	14	11	▲ 3	
経常利益	216	187	▲ 28	
特別利益	2	22	19	投資有価証券売却益+18
特別損失	5	11	5	災害による損失+7
税金等調整前四半期純利益	213	199	▲ 14	
法人税等	48	49	1	
法人税等調整額	12	13	0	
四半期純利益	152	136	▲ 16	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	4	4	0	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	147	131	▲ 16	

# 為替換算による影響額(売上高)、為替レート



主要在外会社の 為替換算レート	2020年3月期 第3四半期		2021年3月期 第3四半期		前年同期比増減		増減内訳(億円)	
	現地通貨	円貨(億円)	現地通貨	円貨(億円)	現地通貨	円貨(億円)	現地通貨	為替影響
USD(百万ドル)	942	1,029	878	943	▲64	▲86	▲69	▲16
EUR(百万ユーロ)	218	268	236	287	17	19	21	▲2
DKK(百万クローネ)	2,180	357	1,953	317	▲227	▲39	▲37	▲2
その他通貨	—	175	—	153	—	▲21	▲18	▲3
計		1,830		1,701		▲129	▲103	▲25

【参考：為替レート】

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	変動率
米ドル (USD)	107.67円	105.25円	▲2.2%
ユーロ (EUR)	118.95円	124.59円	4.7%
デンマーククローネ (DKK)	15.94円	16.74円	5.0%

※右表の為替レートは  
第3四半期の平均



# セグメントマトリックス 売上高(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結計
水産事業	1,724 (▲166)	332 (▲38)	154 (▲59)	43 (▲13)	360 (▲32)	<b>2,615 (▲310)</b>	▲595 (85)	<b>2,020 (▲225)</b>
	1,890	370	214	56	393	<b>2,926</b>	▲680	<b>2,245</b>
食品事業	2,398 (▲216)	455 (11)		37 (▲17)	311 (20)	<b>3,203 (▲201)</b>	▲713 (131)	<b>2,489 (▲70)</b>
	2,614	444		55	291	<b>3,404</b>	▲844	<b>2,560</b>
ファイン事業	212 (▲8)			3 (0)		<b>216 (▲7)</b>	▲23 (▲1)	<b>192 (▲9)</b>
	220			3		<b>223</b>	▲21	<b>201</b>
物流事業	249 (▲0)					<b>249 (▲0)</b>	▲120 (1)	<b>128 (1)</b>
	249					<b>249</b>	▲121	<b>127</b>
その他事業	186 (12)			1 (▲0)		<b>187 (12)</b>	▲47 (▲4)	<b>140 (8)</b>
	173			1		<b>175</b>	▲42	<b>132</b>
仮計	<b>4,770 (▲377)</b>	<b>788 (▲26)</b>	<b>154 (▲59)</b>	<b>85 (▲30)</b>	<b>672 (▲12)</b>	<b>6,472 (▲507)</b>		
	<b>5,148</b>	<b>815</b>	<b>214</b>	<b>116</b>	<b>684</b>	<b>6,979</b>		
連結調整	▲1,204 (128)	▲112 (21)	▲115 (30)	▲59 (28)	▲7 (2)		▲1,500 (210)	
	▲1,333	▲134	▲145	▲87	▲10		▲1,711	
連結計	<b>3,566 (▲249)</b>	<b>675 (▲5)</b>	<b>39 (▲29)</b>	<b>25 (▲2)</b>	<b>664 (▲9)</b>			<b>4,972 (▲296)</b>
	<b>3,815</b>	<b>681</b>	<b>69</b>	<b>28</b>	<b>674</b>			<b>5,268</b>

※上段は当期累計実績、下段は前年同期累計実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

# セグメントマトリックス 営業利益(前年同期比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	全社経費	仮計	連結調整	連結計	営業利益率(%)
水産事業	16 (▲7)	5 (▲14)	10 (▲51)	1 (0)	4 (▲4)		37 (▲77)	15 (25)	53 (▲51)	2.6 (▲2.0)
	24	19	62	0	8		115	▲10	104	4.7
食品事業	68 (3)	22 (9)		▲0 (▲6)	17 (3)		108 (10)	0 (0)	109 (10)	4.4 (0.5)
	65	13		5	14		98	▲0	98	3.8
ファイン事業	18 (▲0)			0 (▲0)			18 (▲0)	0 (▲0)	19 (▲0)	10.0 (0.2)
	18			0			19	0	19	9.7
物流事業	18 (3)						18 (3)	▲0 (▲0)	18 (2)	14.0 (1.6)
	15						15	0	15	12.4
その他事業	4 (4)			0 (0)			5 (4)	0 (▲0)	5 (4)	3.9 (3.1)
	0			0			0	0	1	0.8
全社経費						▲54 (▲5)	▲54 (▲5)	0 (▲0)	▲54 (▲5)	
						▲49	▲49	0	▲48	
仮計	126 (2)	28 (▲4)	10 (▲51)	1 (▲6)	22 (▲0)	▲54 (▲5)	133 (▲65)			
	123	32	62	7	22	▲49	199			
連結調整	6 (1)	3 (1)	8 (20)	1 (1)	▲1 (0)	▲0 (0)		16 (25)		
	5	1	▲12	▲0	▲2	▲0		▲8		
連結計	133 (4)	31 (▲2)	18 (▲31)	2 (▲4)	20 (0)	▲54 (▲5)			150 (▲40)	3.0 (▲0.6)
	129	34	49	6	20	▲49			190	3.6

※上段は当期累計実績、下段は前年同期累計実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益消去等が含まれる。

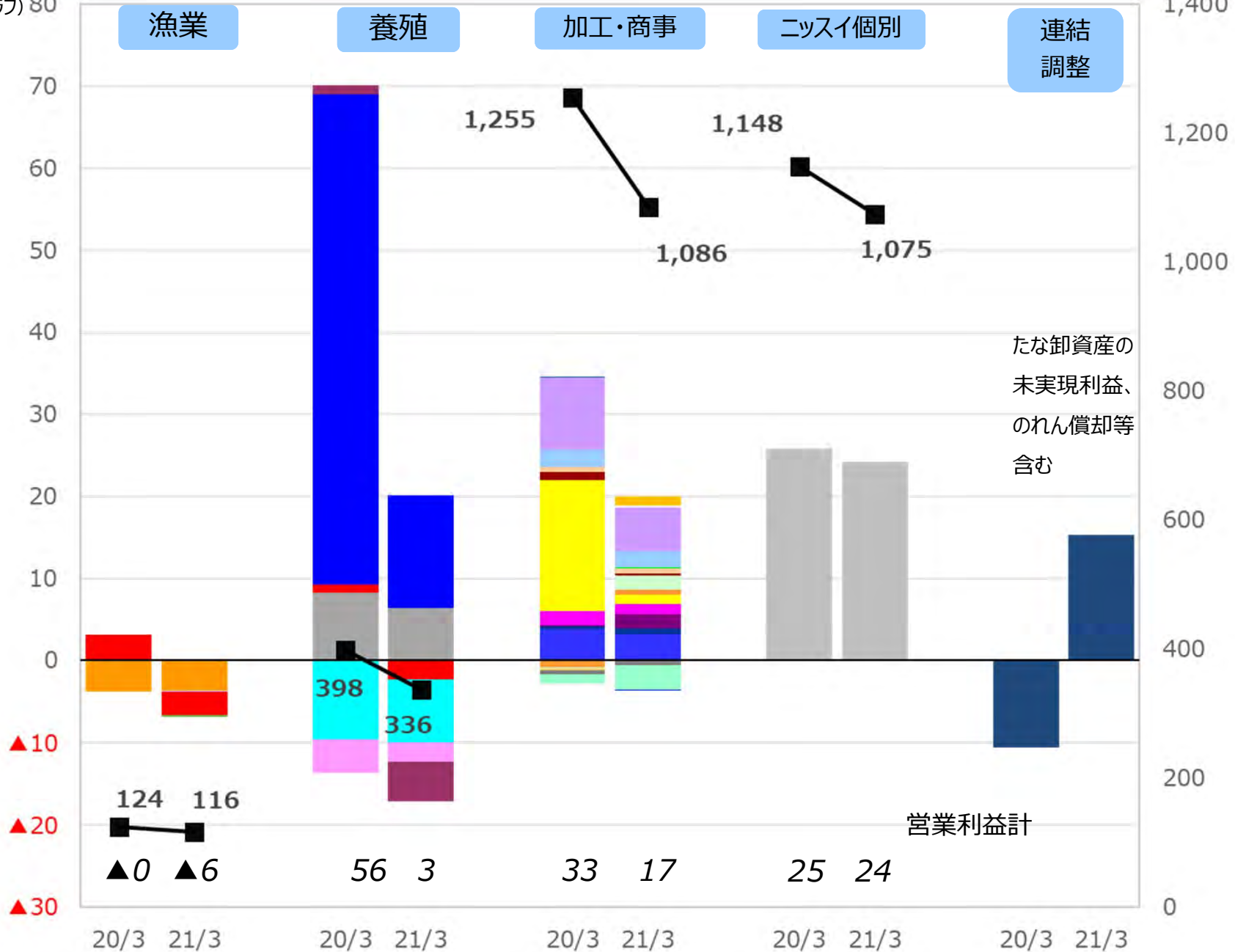
# 水産事業 売上高・営業利益(前年同期比)



営業利益 (棒グラフ) 80

(単位:億円)

1,400 売上高 (折れ線グラフ)



※グラフ下部の斜体数値は機能別営業利益合計数値

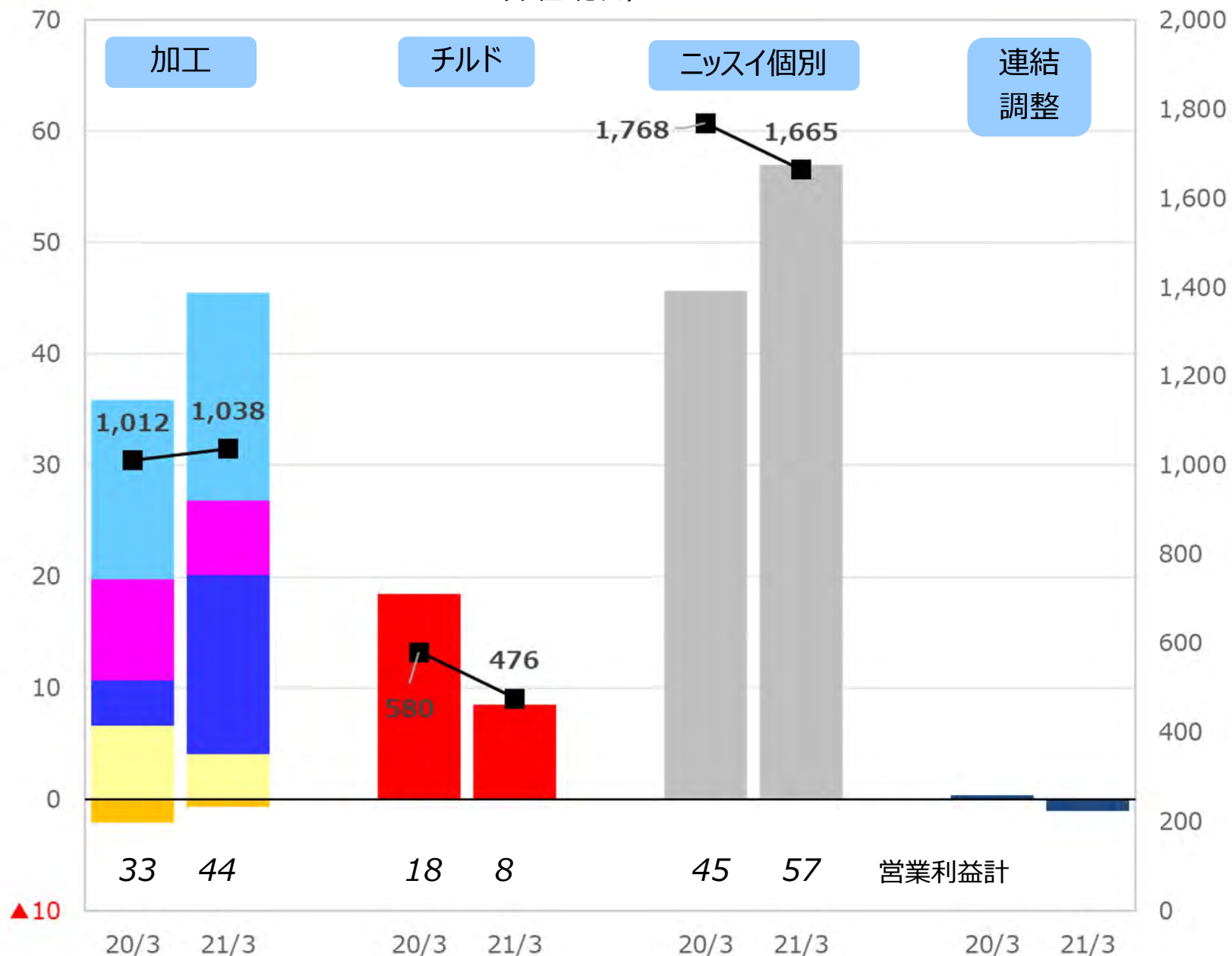
# 食品事業 売上高・営業利益(前年同期比)



営業利益 (棒グラフ)

(単位:億円)

売上高 (折れ線グラフ)



※グラフ下部の斜体数値は機能別営業利益合計数値

